

## カーリング競技大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(主催者①)

### 全般的な事項

- 感染防止のため主催者がすべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会運営受付場所等)に掲示する事
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障害者や高齢者の競技者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、競技者・会場入場者より提出を求めた情報は保存期間(少なくとも1カ月以上)を定め保管すること
- 大会後に競技者・会場入場者から新型コロナウイルス感染症を発症した報告があった場合や、感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の管理者と事前協議すること

### 競技会出場時(各ブロック予選会含む)の対応

競技委員会が競技者に求める感染拡大防止のための措置とし、以下の事項確認が必要。

- 出場チームの競技者が以下の事項に該当する場合は、出場を見合わせを求めること(大会当日に書面で確認を行う)
  - 体調がよくない場合(例:発熱:咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 他の競技者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること(障害者の誘導や介助を行う場合を除く)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- マスクを持参すること(受付時や着替え等の競技以外や会話をする際にはマスクを着用)
- 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために競技会期間中は主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

### 当日の競技者受付時及び会場入場時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 競技者及び関係スタッフ並びに観客を含め距離をおけるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用し、体温検査測定者にはフェイスシールドを着用させること
- 発熱や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること(状況によっては、発熱者をサーモメーター、体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)
- 当日の受付のほか、競技前日の受付を行い混雑を極力避けること
- インターネット等を活用した電子的な受付の普及を図り、受付場所での接触を避けること
- 競技者・関係スタッフ及び観客から以下の事項を記載した書面の提出を求めること
  - 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号) ※個人情報の取扱いに十分注意すること
  - 利用当日の体温(競技者は各試合ごと開始前)
  - 利用前2週間における以下の事項の有無
    - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)の有無
    - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状の有無
    - だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)の有無
    - 嗅覚や味覚の異常の有無
    - 体が重く感じる、疲れやす等の体調変化の有無
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## カーリング競技大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(主催者②)

### 競技大会の競技者及び競技関係者への対応

- マスク等の準備
  - 競技者及び競技関係者がマスクを準備しているか確認すること
  - 競技者の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間については、マスクの着用を求めること(競技中のマスクの着用は選手の判断によるものとするが、飛沫防止策を講ずること)
- 競技会前後の留意事項
  - チームミーティング及び表彰式においても、三つの密を避けること(代表者による開催)
  - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

### 競技主催者(競技委員会及び施設管理者)が準備すべき事項の対応

- 洗面所・手洗い場(施設管理者)
  - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること
  - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
  - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
  - 「手荒いは30秒以上行う」などの掲示をすること
  - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(競技者・スタッフ・観客にマイタオルの持参を求めても良い、布タオル・乾燥設備は使用しないようにすること)
  - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
  - 各シートに、アルコール等の手指消毒剤を用意し、水分摂取や、ハーフタイム時の栄養補給時に手指衛生を行なうこと
- 更衣室、休憩、待機スペース(競技委員会及び施設管理者)
  - 広さにはゆとりを持たせ、ほかの競技者と密になることを避けること(障害者の介助を行う場合を除く)
  - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する競技者の数を制限する等の措置を講ずること
  - 室内又はスペース内で複数の競技者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
  - 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること
- 競技者の飲食物の摂取及び提供(競技委員会)
  - 競技者が飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を行うよう声を掛けること
  - スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル、マイボトル等、栓が出来る個人管理できる物を利用すること
  - 飲料の提供については、ドーピング検査対象競技会では未開封の飲料を提供しなければならないこと
  - 食品の提供については、競技者が同じトング等取り分ける方式を避け、一人分を小分けした提供など工夫すること
  - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスク及び手袋を着用させること
- 観客の管理(競技委員会及び施設管理者)
  - 観客を入場させる場合は、観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をすること
  - 大声での声援を送らなことや会話を控える等の周知を徹底すること
  - 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること
- カーリング競技会場(競技委員会及び施設管理者)
  - カーリング場内の換気設備を適切に運転活用すること
  - アイス状態を維持できる範囲内で換気を行い、長時間の密閉空間とならないように十分な配慮を行うこと
  - ゲーム終了後、各シートのストーンのハンドル、得点版、計測機器、計時タイマー(PC)等を消毒すること
  - 会場に入場する際に発熱者を発見するサーモメーター、体温計などの準備をすること
  - 競技者のブラシについても、消毒を行うよう声掛けし、会場内に消毒剤を用意すること
  -
- ゴミの廃棄(競技委員会及び施設管理者)
  - 競技場内のごみ箱はブラシ等に付いたアイス上のゴミのために使用すること周知すること
  - 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
  - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

## カーリング競技大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(競技者)

### 競技者が遵守すべき事項

- 出場チームの競技者が以下の事項に該当する場合は、**チームは出場を見合わせる**こと(大会当日に書面で確認を行う)
  - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(受付時や着替え等の競技以外や会話をする際にはマスクを着用)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 他の競技者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること(障害者の誘導や介助を行う場合を除く)
- 感染防止のために競技会期間中は主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 競技会の前後のミーティングや閉会式等においても、三つの密を避けること
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

### 競技者がカーリングを行う際の留意点

- 十分な距離の確保(デリバリー・スウィープ中及び作戦タイム以外の選手間)
  - カーリング競技に関わらず、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(※)を空けること(介助者や誘導者の必要な場合は除く)
  - 激しい運動(スウィーピング等)後は、呼気が激しくなるため、マスク等(フェイスシールド)の着用すること
  - マスクをしていない場合には、十分な距離を開けるよう特に留意をする必要があること(※)感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り: カーリング特有のデリバリー・スウィーピング・作戦の指示においては、前の人の呼気の影響を避けるため選手同士の距離を保つ位置を配慮すること。スウィーピングは短時間の密接な作業動作と考え、終了後の選手同士の距離を取り、向かい会わずに話すよう留意すること、また、作戦の指示(掛け声)
- 作戦指示: 示(掛け声)は周りの競技者に配慮し十分な距離を空けることに留意することを求めます。
- タオルの共用はしないこと。
- 競技場内のごみ箱はブラシ等に付いたアイス上のゴミのために使用することを求めます。
- 競技者個人のゴミ等(鼻ティッシュ)は施設内のゴミ箱に投棄せず個々でダスト袋などを用意し持って帰ることを求めます。また、ペットボトル等の飲み残しは個人で処理し適切なボックスに投棄すること。
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人と距離を取り対面を避け、会話は控えめにすること、また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。
- ハーフタイムでは、指定された位置で、コーチとの接触を認めるが、密接な接触は避けて競技者の留意事項に準ずる行動をとること。
- ハーフタイムでの栄養補給については、人との距離を取り対面を避けるとともに、会話は控えめに行うこと。また、会場によってはホーム側・ボード側に分かれて行うことを求めることがあります。
- 競技の前後及び競技中は、競技者どうしの折衝は控えること。(肘タッチ、用具を掲げる等で対応)
- ブラシ等の用具は試合終了後、競技者個々で消毒すること。(会場内に消毒剤を準備するよう大会運営側に指示します。)

※ カーリング競技に選手が注意する事項は今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直しを行います。